

ケア・アカデミー（オンライン研修会）に参加される皆様へ **参加前**のお願い



1. ケア・アカデミー（オンライン研修会）では、zoomミーティングを使用します。
招待リンク

<https://us02web.zoom.us/j/83196297969?pwd=RUFGNzIvZWlSOTdhcXV3SVVrd1lMUT09>

ミーティングID	831 9629 7969
パスコード	101424

2. 研修会当日は**13：20頃より入室が可能**です。
オーディオテストを行うため、**開始10分前を目安に入室**をお願いいたします。
※**お申し込み時のお名前**でご入室ください。
※事前にオーディオテストをご希望の場合は、個別にお問い合わせください。
3. 欠席される場合は、ご連絡ください。

ケア・アカデミー（オンライン研修会）に参加される皆様へ **参加中**のお願い



1. 受講中のオーディオは、**ビデオ付き参加**、**音声はミュート**に設定してください。
2. 質疑は随時チャット機能（送信先は全員へ）で受けつけ、まとめて回答いたします。
3. 受講中のやむを得ない連絡は、チャット機能または電話にてお願いいたします。

【電話番号】 **070-3100-6006**（千葉市生活支援コーディネーター 川上）

4. 新型コロナウイルス感染症の影響により、変更や中止・延期となる場合があります。

令和2年度 第5回 ケア・アカデミー

新しい生活様式における 認知症カフェのカタチ



令和3年3月29日（月） 14：00～15：15

千葉市生活支援コーディネーター中央区

千葉市生活支援コーディネーター東千葉圏域



本日の内容

1. 地域の居場所の例
2. 認知症カフェ **〈and all café〉** 基本情報
3. 認知症カフェ **〈and all café〉** 交流会
ハイブリッド型開催（事前準備／当日）
4. 新しい生活様式における認知症カフェのカたち
ビジョン・構想
5. 新しい生活様式における認知症カフェのカたち
まとめ

1. 地域の居場所の例





地域の居場所の例

分類	主な対象者	目的・内容	主催
認知症カフェ	認知症の人、 認知症の人を介護している人、 認知症の人を介護していた人	情報交換、思いの共有、 繋がりづくり（介護サービ スや専門職を含む）	介護経験のある 個人や任意団体、 高齢者施設、 診療所や病院 etc.
ケアラズ・カフェ	介護している人、 介護していた人		
子ども食堂	子ども、保護者	子どもの健全育成、 親子支援、情報交換、 思いの共有、繋がりづくり、 食事の提供（無料/安価）	個人、任意団体、 町内自治会、 施設 etc.
コミュニティ・カフェ	誰でもOK！	情報交換、思いの共有、 繋がりづくり	



1. 主な対象者や主催、形式は様々。
2. 情報交換や思いの共有、繋がりづくりの場であることは共通。



〈参考〉 認知症カフェ

【カフェの内容】

- 例1 カフェタイム ➡ ミニ講話 ➡ カフェタイム ➡ 質疑応答
- 例2 何も行わず、カフェにてインフォーマルな相談を実施
- 例3 カフェタイム ➡ 認知症の人と家族介護者別々でも話し合い・情報交換 ➡ カフェタイム

【千葉市内の認知症カフェ数】

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	計
認知症カフェ (オンライン可)	5ヶ所	3ヶ所	8ヶ所 (2ヶ所)	3ヶ所	6ヶ所	6ヶ所 (1ヶ所)	31ヶ所 (3ヶ所)

千葉市認知症カフェ一覧（2021年1月版）より

2. 認知症カフェ 〈and all café〉

基本情報



認知症カフェ 〈and all café〉 概要 ♪ みんなの居場所 ♪



特別養護老人ホームに併設された飲食店です。
子どもから大人まで、誰でもフラッと立ち寄れる**地域の居場所・オアシス**♪
笑顔の店員と福祉系専門職が常駐し、悩みを共有したり、専門職の立場から情報を提供します。

【所在地】 千葉県千葉市稲毛区轟町5-2-1
社会福祉法人 煌徳会
特別養護老人ホーム とどろき一倫荘内

【連絡先】 043-307-8301

【運営日】 月曜日～金曜日 10:00～16:00

【定休日】 土曜日・日曜日・祝日

【担 当】 施設職員（有資格者）



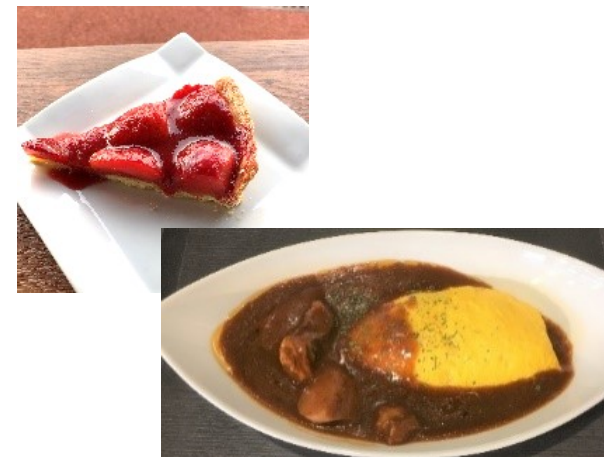
認知症カフェ 〈and all café〉 ビジュアル紹介



特別養護老人ホームに
併設された飲食店です。



リラックスできる
落ち着いた空間。
テラス席もあります。



季節のスイーツや
ランチが楽しめます。

認知症カフェ 〈and all café〉 特徴



特 徴	強 み
1日6時間×平日5日間、開いている	⇒ 自分の都合で行くことができる！
施設に併設されている	⇒ 専門職（有資格者）に相談できる！
フリー Wi-Fiとコンセントがある	⇒ パソコンやスマホが使いやすい！
飲食店である	⇒ 気軽に入ることができる！

でも…

- ①強みを生かしきれていないのでは…？つまり、**伸びしろあり！**
- ②運営時間が長いので、同じような立場・思いを抱える人に
出会う確率が極めて低い。つまり、**交流が難しいことが課題！**

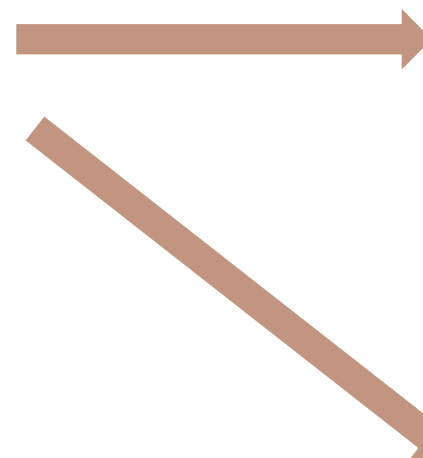
認知症カフェ 〈and all café〉 コロナウイルス感染症の影響と対応



- 令和2年4月発出の緊急事態宣言中は休止
- 席数を減らし、**飛沫防止フィルム**を設置
- **千葉県新型コロナウイルス感染症対策取組宣言の店**を申請
- **千葉県コロナ追跡サービス**を申請（次スライド参照）

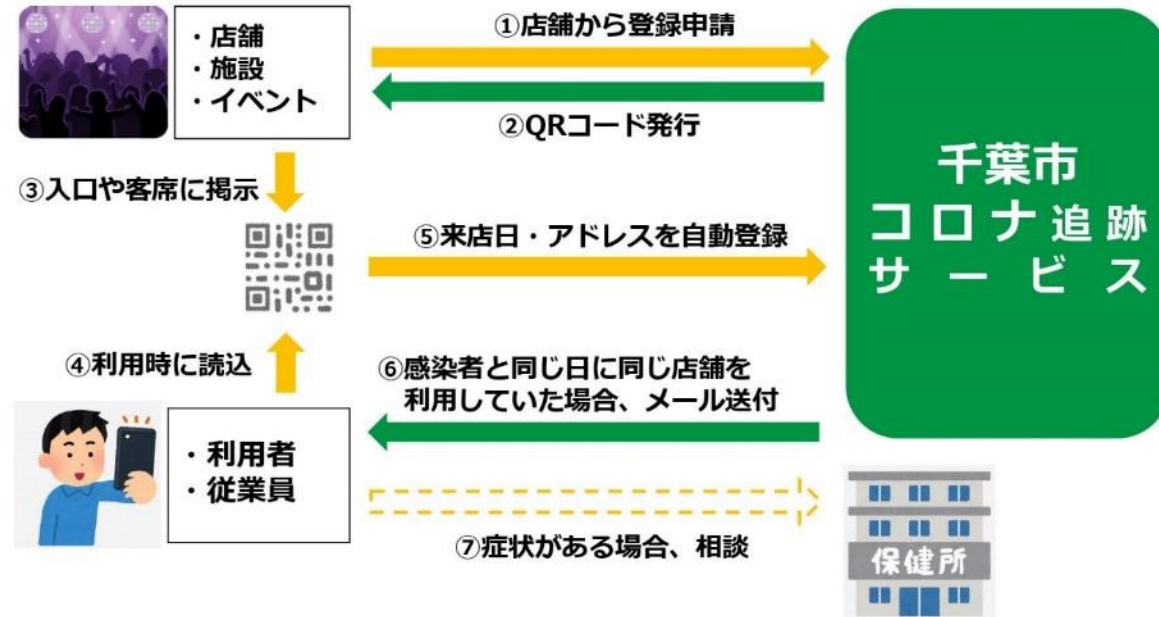
消毒やマスク着用をお願い…できることは全て実行。
それでも…

**狭い店内に人が集まるリスクの高さ、
新しい生活様式における運営の必要性を感じています。**



千葉市コロナ追跡サービス

QRコードを活用して、新型コロナウイルス感染者と接触した疑いのある方に早期に注意喚起することにより行動変容を促し、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、「千葉市コロナ追跡サービス」を開始します。



千葉市コロナ追跡サービス ご協力のお願い

千葉市では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「千葉市コロナ追跡サービス」の運用を開始いたしました。

当店舗をご利用されるお客様につきましては、
下記 QR コードより登録をお願いいたします。

ご登録方法

携帯電話、スマートフォンから下記 QR コードを
読み取りアクセスしてご登録ください



読み取って
サービスに登録！

店舗(施設)名: **and all cafe**



※本サービスで千葉市が入手する情報は、追跡以外の目的に使用しません。また、登録データは1か月後に消去されます。

3. 認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 ～ 事前準備 ～



認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 契機・きっかけ



1. 生活支援コーディネーターより 〈and all cafe〉 担当者へ
稼働状況を問い合わせました。
2. 後日、生活支援コーディネーターが 〈and all cafe〉 を訪問し、
担当者と**地域の居場所の現状と課題を共有**しました。
 - ①コロナ禍により、**多くの地域の居場所が活動を休止**せざるを得ない状況下で、
早期に再開に至った 〈and all cafe〉 が、稀有な存在であること。
 - ②新しい生活様式に対応するため、オンラインの活用を検討したいが、
経験がないため、一歩踏み出せずにいること。

ということで！

生活支援コーディネーターが支援を申し出て、
オンラインを活用した認知症カフェにチャレンジ！

認知症カフェ〈and all cafe〉交流会 ハイブリッド型開催 経緯・プロセス



7月下旬	● 生活支援コーディネーターと情報共有・意見交換を実施した。これをもとに、開催概要と当日のスケジュールをまとめた。（スライド22参照）
8月	● 開催概要をもとに、フライヤーを作成した。（スライド18参照） ● フライヤーによる周知を開始。生活支援コーディネーターも協力し、広く周知を図った。（スライド19参照）
9月上旬	● 生活支援コーディネーターと事前打合せを実施した。（オンライン会場のPC設定、会場レイアウトや当日の役割確認など）
2日前	● オンライン会場接続テストを実施した。

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 概要



【目 標】 月1回の頻度で、〈and all cafe〉 交流会を
リアル会場とオンライン会場の同時開催で試行すること。

【日 時】 初回 令和2年9月25日（金） 13:00～14:00

【場 所】 and all café

【形 式】 ハイブリッド型

まずは
やってみよう！

対面式のリアル会場をメインとしつつ、オンライン会場を
設ける形式をハイブリッド型と命名しました。

リアル
会場



オンライン
会場



ハイブリッド型

【フライヤー（表面）】

認知症カフェ

初めての

リアル会場&オンライン会場 同時開催！

アンド オール カフェ
and all café 交流会



ホッと 一息
一緒に 一息



and all café（アンド オール カフェ）では、従来通りのリアル会場に、オンライン会場を追加します★
コロナ禍で、コミュニケーションの機会が減っていませんか？
そろそろ一息つきましょう！ご参加お待ちしております（＾＾）

【日時】 **2020年9月25日（金） 13:00～14:00**
2020年10月30日（金） 13:00～14:00

【場所】 **and all café & オンライン**
〔千葉県稲毛区轟町 5-2-1
特別養護老人ホームとどろき一輪荘内〕

【テーマ】 コロナ禍で…
①認知症の人、介護をする人の想いやサポート
②認知症カフェ活動や想い
③気づいたこと・気になっていること etc.

【申込】 裏面参照

【備考】 参加費無料 入退室自由

【フライヤー（裏面）】

参加申し込み方法

リアル会場	オンライン会場
事前申し込みは不要です。 （予めご連絡いただくとスムーズです。） ご自宅で体温を測り、マスクを着用の上、直接会場へお越しください。感染症対策へのご協力をよろしくお願いいたします。	予めメールにてお申し込みください。 Zoom ミーティング参加のIDとパスワードをお送りいたします。 【メールアドレス（担当／山本あて）】 andallcafe@koutokukai.sakura.ne.jp 【オンライン申し込み必須】 交流会 2 日前 12:00 ※上記の切後に参加を希望される場合はメール送信の上、電話連絡をお願いいたします。（043-307-8301）



●●● and all café は みんなの居場所 ●●●

子どもから大人まで、誰でもフラッと立ち寄れる**地域の居場所・オアシス**です。
笑顔の店員と福祉系専門職が常駐し、悩みを共有したり、専門職の立場から情報を提供します。（月曜日～金曜日 10:00～16:00 ※祝日は休み）



特別養護老人ホームに併設されています。



リラックスできる落ち着いた空間。テラス席もオススメ★



トークが弾む、美味しいドリンク♪



季節のスイーツやランチが楽しめます！



感染症対策の取り組み宣言の店です。

【問い合わせ】 ☎ **043-307-8301**（担当／山本）
千葉県稲毛区轟町 5-2-1 特別養護老人ホームとどろき一輪荘内 and all cafe

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 周知先



- **紙媒体による周知**

稲毛区役所、近隣の町内自治会への回覧、近隣のマンションへの掲示 etc.

- **データによる周知**

市内生活支援コーディネーター、市内あんしんケアセンター、
市内認知症カフェ運営者、市内居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、
認知症の人と家族の会、千葉市認知症疾患医療センター、
当法人ブログ掲載、NPO法人千葉西多職種連携の会 WEBサイト、
賛同者のFacebook etc.



認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 事前準備の様子



【PC準備】



オンライン会場設定中。
映像は問題ないのに、
音声が出ない！
初挑戦にトラブルは
付きもの。焦らず、
ひとつずつ解決します。

【事前打合せ】



概要と開催までの
スケジュールが決定。
次は当日の流れを想定
して、役割分担。
「必要な備品は？」
「受付どこにする？」

【接続テスト】



開催2日前に、オンラ
イン会場の接続テスト。
「見える？」
「聞こえる？」
繋がると嬉しくなり、
手を振ってしまう！

3. 認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 ～ 当日 ～



認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 当日のスケジュール



時間	内容
12:00～	運営者集合・会場設営（リアル会場／オンライン会場）
13:00～	開会・趣旨説明
13:05～	参加者自己紹介
13:15～	トークタイム ①コロナ禍での認知症の人や介護をする人の想いやサポート ②コロナ禍での地域の居場所活動や想い ③コロナ禍により気がついたこと・気になっていること ④ハイブリッド型開催の感想 など
14:00	閉会・次回予告

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 当日の役割



役割	内容
進行	交流会全体の進行（オンライン会場管理を含む）
オンライン会場管理	PC・プロジェクターのセッティング、オンライン会場管理
リアル会場設営	受付や参加者の座席の配置など
受付	マスク着用・手指消毒の確認、必要書類の配付
体調確認	検温・体調確認、参加受付票記入の確認・回収
案内／撮影	リアル会場参加者の誘導、記録のための画像撮影

当日は6名で運営

〈and all café〉 担当 1名
 千葉県生活支援コーディネーター 5名

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 参加時の感染症対策



認知症カフェ

ホッと一息
一緒に一息

リアル会場&オンライン会場 同時開催!

アンド オール カフェ
and all café 交流会

受付

①検温を実施します。
②参加受付票をお渡しします。
必要事項をご記入ください。

- マスク着用・手指消毒
- 非接触型体温計で検温
- 千葉県コロナ追跡サービス協力のお願い
配付 (スライド13参照)

- 項目に沿って体調を自己申告
- 参加受付票に氏名・連絡先を記入
(右図参照 ➡)



and all café 交流会 参加受付票

本日は and all café にお越しいただき、まことにありがとうございます。
交流会参加に際し、感染症対策に関する下記事項をご確認の上、チェックボックスに「✓」を入れ、ご署名をお願いいたします。

- ☐ 受付での体温は _____ °C です。
※体温 37.5℃以上の場合は参加不可
- ☐ 過去2週間から本日まで、体調不良（咳・喉の痛み・味覚障害・倦怠感など）はありません。
- ☐ and all café 交流会参加前に手指消毒を行い、マスクを着用します。
- ☐ and all café 交流会では、3密にならないように努めます。

上記の事項を確認の上、同意します。

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

氏名 _____ 様（電話番号 _____ ）

and all café 交流会のご案内をご希望の場合は、送付先の住所・所在地またはメールアドレスをご記入ください。（既に登録済みの場合は、記入不要）

宛名	様
住所・所在地	〒 _____
メールアドレス	_____

受付票のご記入にご協力いただき、ありがとうございました。
and all café 交流会をお楽しみください。

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 当日の様子



【リアル会場】



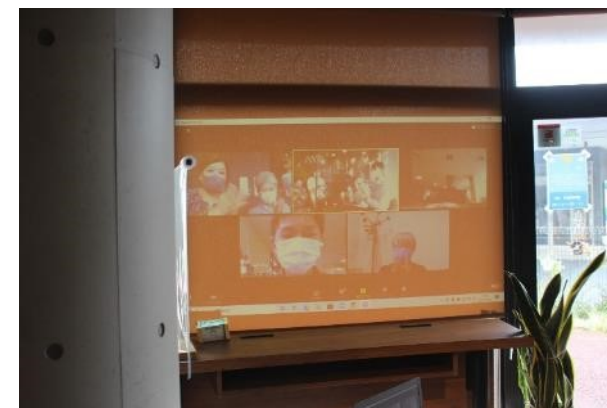
マスク&アクリル板
越しでも、新たな
出会いに心が弾みます。

【リアル会場】



プロジェクターに投影
して、オンライン会場
の皆さんと対面です。

【オンライン会場】



ロールカーテンに映る
参加者の皆さん。
コミュニケーションの
新しい形です。

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 参加者の声



リアル会場 参加（2名）	オンライン会場 参加（3名）
● 初めて認知症カフェに参加しました。居心地のよい空間ですね。 ● また来ます。	● 外出先（県外）からの参加です。 ● 認知症カフェやケアラースカフェを運営している方の話を聞くことができ、貴重な経験になりました。 ● ケアラースカフェという言葉を知りました。

認知症カフェ 〈and all cafe〉 交流会 ハイブリッド型開催 運営者・協力者の所感



1. **可能であれば 複数で**
ハイブリッド型は、リアル会場とオンライン会場を同時に運営するため、複数名で関わるとよい。
2. **ファシリテーション・スキル**
リアル会場とオンライン会場、それぞれにファシリテーターがいるとスムーズ。
3. **オンライン参加者へのPC操作支援**
オンライン操作に不安がある参加者については、初回は家族や支援者の同席がおすすめ。ハイブリッド型であれば、リアル会場でもPC操作の説明もできる。

4. 新しい生活様式における 認知症カフェのカたち

ビジョン・構想



(1) オンラインを活用した 認知症カフェの波及



- ① オンライン型やハイブリッド型に関する**情報や所感を共有**する。
(通信環境が整備された場所の提供や紹介なども)
- ② これから挑戦したい人に対して、
既存のオンライン型やハイブリッド型認知症カフェを**視察や体験の場として活用**する。



- リスク（感染症や悪天候など）に強く、安定した認知症カフェが増える。
SDG s (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) の視点

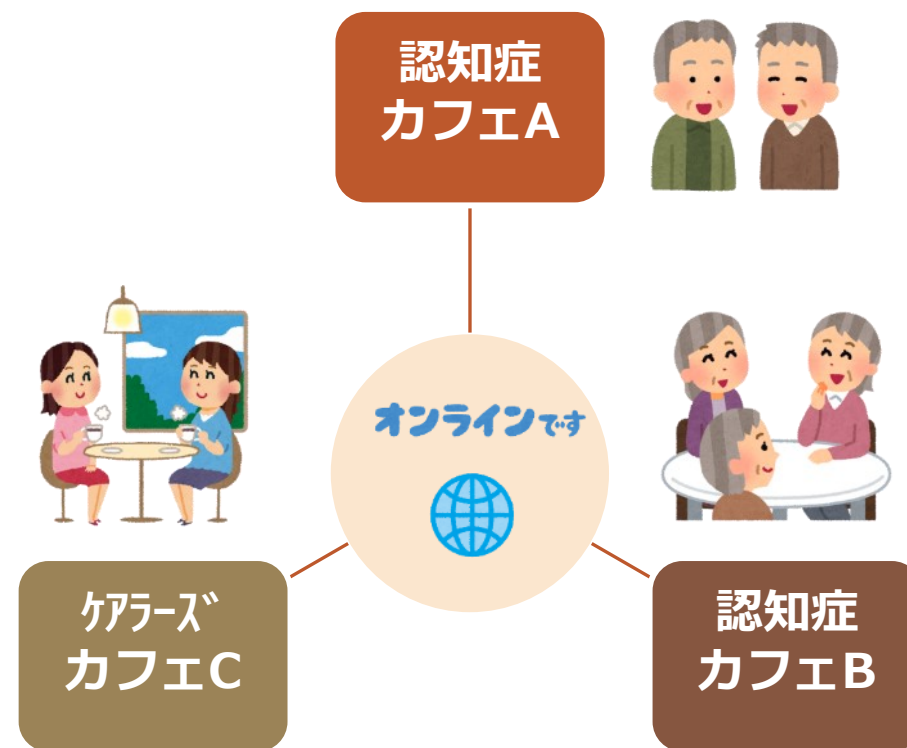


(2) 認知症カフェ同士でつながる

複数の認知症カフェ（対面型）を**同時開催**し、**各会場をオンラインでつなぐ**。



- 感染症対策のため、会場が小規模化しても多くの人とつながることができる。
- いつもと違う顔ぶれになる。



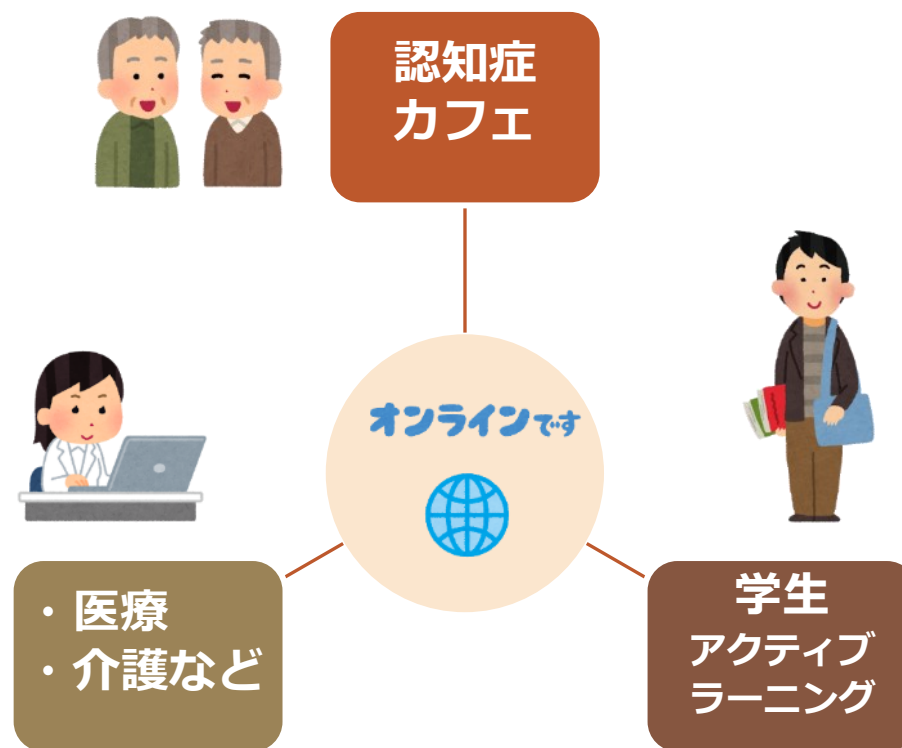


(3) 認知症カフェ以外とつながる

多様な団体やヒトとオンラインでつながる。
例：学生や専門職など



- 専門職からの助言を得ることができる。
- 若い世代へ認知症の啓発ができる。



5. 新しい生活様式における 認知症カフェのカたち

まとめ





(1) 開催形式別の特徴

	対面型	ハイブリッド型	オンライン型
よいところ	● 一体感がある。 (空気感が伝わりやすい。) ● 顔の見える関係・ネットワーキングが自然にできる。 (アフタートークなど) ● 個別相談がしやすい。	● 通信環境の有無を問わず、誰でも参加できる。 情報格差 解消♪	● 感染症のリスクがない。 ● どこからでも参加できる。 ● 時間がとりづらい人や外出が難しい人、悪天候時も参加できる。
難しいところ	● 感染症対策の徹底が必要。 ● 3密回避が可能な場所を確保する必要がある。 (広さ・換気設備)	● 感染症対策の徹底が必要。 ● オンライン参加者が傍観者になる恐れがある。 ● リアルとオンライン、2つの会場に配慮する必要がある。 (ファシリテーションスキルが必要。)	● 安定した通信環境が必要。 ● 通信環境がない人は参加できない。 ● 連絡先の交換がしづらい。 ● 個別相談がしづらい。



(2) お伝えしたいこと

1. **ピンチはチャンス**
コロナ禍はターニングポイント。
新しい生活様式をふまえ、オンラインを活用しませんか。
2. **トライ&エラー**
オンラインの活用は、実際にやってみて、初めて気づくことが多いもの。
まずは、プレ開催や体験会がオススメです。
3. **仲間・協力者を探す**
オンライン活用の第一歩を踏み出せない時は、無理せず協力者を探すのも一案です。
例：既にオンラインを活用している認知症カフェ団体、市民活動支援センター、
社会福祉協議会、生活支援コーディネーター、市町村など



ご清聴ありがとうございました

千葉県生活支援コーディネーター 中央区（坂本）

〒260-0031

千葉県千葉市中央区新千葉3-10-20

特別養護老人ホーム 新千葉一倫荘 1F

【TEL】 070-3105-8246

【FAX】 043-243-0860

【Mail】

sc-chuoku@koutokukai.sakura.ne.jp

【担当地区】 千葉市中央区（全域）

【千葉市（生活支援コーディネーター）】

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushi/hokatsucare/seikatsushienkodeineta.html>

【法人】 <https://www.ichirin.or.jp>

千葉県生活支援コーディネーター 東千葉圏域（川上）

〒260-0017

千葉県千葉市中央区東千葉16-12

千葉市あんしんケアセンター東千葉内

【TEL】 070-3100-6006

【FAX】 043-216-2132

【Mail】

sc-higashichiba@koutokukai.sakura.ne.jp

【担当地区】 院内、春日、要町、汐見丘町、
新千葉、椿森、道場北町、道場北、
登戸、東千葉、弁天、松波、祐光



トークタイム

①トークタイム

【時 間】～15：15

【内 容】フリー

例えば…

- ◆ 事例・研修会の感想
- ◆ 情報交換
「今〇〇をしています。」
「〇〇はどうしていますか？」
- ◆ ビジョン・構想
「これから〇〇をしたいです。」

②アフター・トーク・タイム

【時 間】15：15～15：45

【内 容】フリー

研修会後の**任意参加のトークタイム**です。
①の情報交換の続きや、連絡先の交換など
思う存分、活用してください。

時間になりましたら終了いたします。
予めご了承ください。